

# SX80 Codecによるスピーカートラックの設定

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[図](#)

[スピーカートラックの有効化](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[診断](#)

[ログ](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、SX80 セットアップでスピーカー追跡をインストールして設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- SX80コーデック
- Precision 60カメラ
- スピーカートラックユニット
- HDMI(High-Definition Multimedia Interface)ケーブル。
- RJ45ケーブル

### 使用するコンポーネント

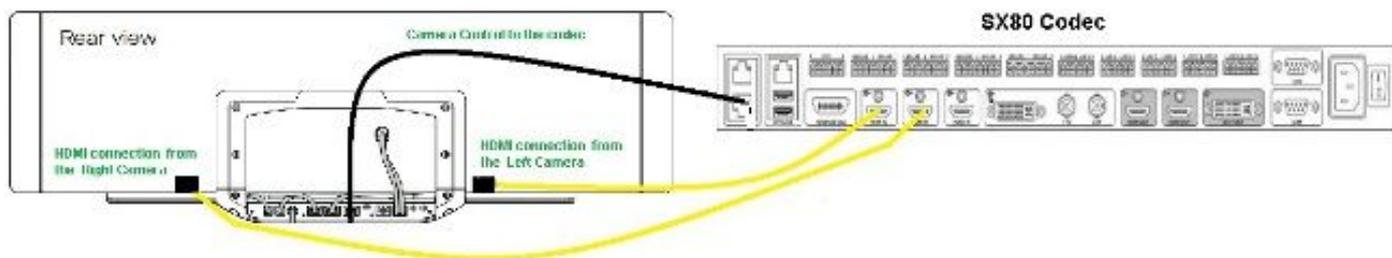
このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

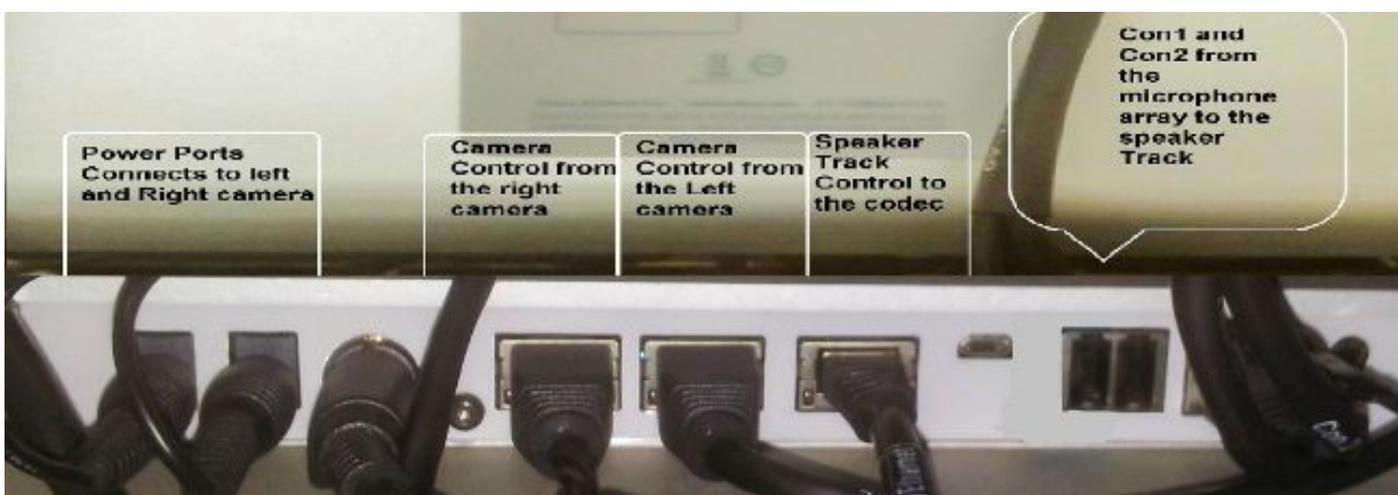
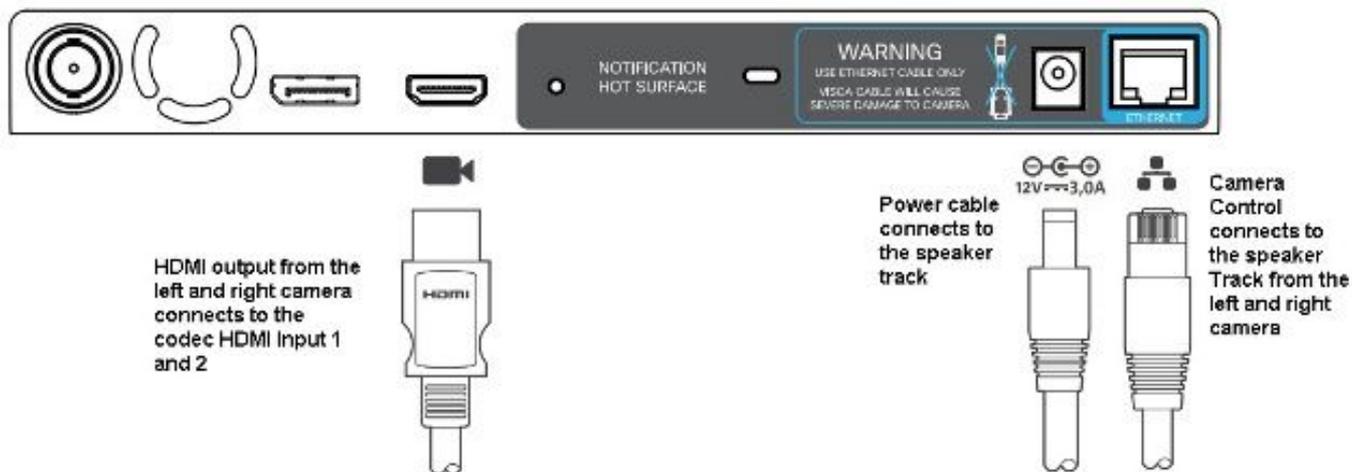
## 設定

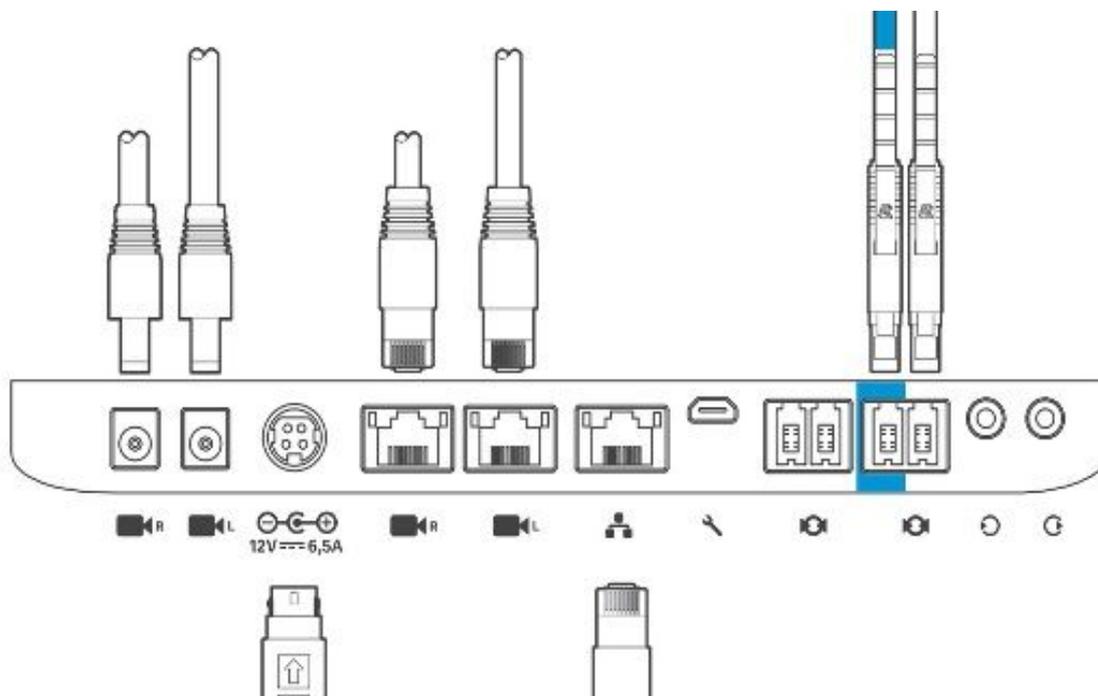


## SX80コーデックに接続されたスピーカートラックのケーブル図



### Rear View of Precision 60 Camera





機器をインストールするには、次の手順を実行します。

1. SX80コーデックを設定します。
2. ネットワークポート2、3からスピーカトラックのネットワークポートにRJ45ケーブルを接続します。
3. 各カメラのHDMIケーブルを、コーデックのHDMI入力ポートに接続します。
4. Speaker Trackに電源を接続します。
5. 各カメラのRJ45ケーブルをSpeaker Trackのそれぞれのネットワークポートに接続します。
6. 各カメラの電源ケーブルをスピーカトラックに接続します。

## スピーカトラックの有効化

ケーブル配線が完了したら、スピーカトラックの設定が正しく設定されていることを確認します。

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft: 1
Configuration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight: 2
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode: Auto
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode: Auto
xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode: Default
xCommand Cameras SpeakerTrack Activate
```

## 確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

- コーデック – TC7.3.0
- スピーカトラック- MT7.3.0
- Precision60- HC7.3.0

1. コーデック、スピーカトラック、およびカメラで同じソフトウェアバージョン（番号）ソフトウェアが使用されていることを確認します。

2. カメラのステータスを確認し、カメラのシリアル番号とファームウェアが正しく検出されていることを確認します。

**xstatus Camera**

```
*s Camera 1 HardwareID: "55000000"
*s Camera 1 IPAddress: "169.254.1.43"
*s Camera 1 MacAddress: "E4:C7:22:65:3F:D3"
*s Camera 1 Manufacturer: "Cisco"
*s Camera 1 Model: "Precision 60 Camera"
*s Camera 1 Position Focus: 4200
*s Camera 1 Position Pan: 3600
*s Camera 1 Position Tilt: -650
*s Camera 1 Position Zoom: 4128
*s Camera 1 SerialNumber: "FTT181100R5"
*s Camera 1 SoftwareID: "HC7.3.0.8cb420c, 2014-12-12"

*s Camera 2 HardwareID: "55000000"
*s Camera 2 IPAddress: "169.254.1.44"
*s Camera 2 MacAddress: "E4:C7:22:65:3F:EE"
*s Camera 2 Manufacturer: "Cisco"
*s Camera 2 Model: "Precision 60 Camera"
*s Camera 2 Position Focus: 0
*s Camera 2 Position Pan: 3600
*s Camera 2 Position Tilt: -650
*s Camera 2 Position Zoom: 0
*s Camera 2 SerialNumber: "FTT181100R1"
*s Camera 2 SoftwareID: "HC7.3.0.8cb420c, 2014-12-12"
```

3. [Speaker Track]ステータスを確認して、空き状況とステータスを確認します。

**xstatus // speakerTrack**

```
*s Cameras SpeakerTrack Availability: Available
*s Cameras SpeakerTrack LeftCamera VideoInputConnector: 1
*s Cameras SpeakerTrack RightCamera VideoInputConnector: 2
*s Cameras SpeakerTrack Status: Active
```

4. スピーカトラックのファームウェアが正しく検出されていることを確認します。

**xstatus // Peripherals**

```
*s Peripherals ConnectedDevice 1045 Name: "SpeakerTrack 60"
*s Peripherals ConnectedDevice 1045 SoftwareInfo: "MT7.3.0.8cb420c"
*s Peripherals ConnectedDevice 1045 Status: Connected
*s Peripherals ConnectedDevice 1045 Type: SpeakerTracker
```

## トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

配線が正しく設定されていることを確認するために、スピーカトラックのステータスを確認します。

**xstatus // speakerTrack**

```
*s Cameras SpeakerTrack Availability: Available
*s Cameras SpeakerTrack LeftCamera VideoInputConnector: 1
*s Cameras SpeakerTrack RightCamera VideoInputConnector: 2
*s Cameras SpeakerTrack Status: Active
```

上記の出力の簡単な説明を次に示します。

**\*s Cameras SpeakerTrack**の提供状況は、次のいずれかの状態になります。

- オフ
- 利用不可

- Available

各状態の意味は異なります。

- **\*s Cameras SpeakerTrackの提供開始：オフ**：スピーカトラックオプションが設定からオフになっていることを意味します。
- **\*s Cameras SpeakerTrackステータス：使用不可**：コントロール（スピーカトラック/カメラ）に問題があることを意味します。
- **\*s Cameras SpeakerTrackの提供開始：Available**：これは、コントロールケーブルが正しく設定されていることを意味します。

**\*s Cameras SpeakerTrack LeftCamera VideoInputConnector:1**

**\*s Cameras SpeakerTrack RightCamera VideoInputConnector:0**

このステータスは、カメラとコーデックのHDMI接続を示しています。接続が正しければ、前のステータスが予想される出力になります。

左カメラのHDMIケーブルが抜けると、ステータスが次のように変わります。

```
*s Cameras SpeakerTrack LeftCamera VideoInputConnector: 0
```

```
*s Cameras SpeakerTrack RightCamera VideoInputConnector: 2
```

右カメラのHDMIケーブルが抜けた場合、ステータスは次のように変わります。

```
*s Cameras SpeakerTrack LeftCamera VideoInputConnector: 1
```

```
*s Cameras SpeakerTrack RightCamera VideoInputConnector: 0
```

これにより、スピーカトラックが機能しなくなる可能性があります。

**\*s Cameras SpeakerTrackステータス：Inactive**

ユーザが[手動追跡(Manual Tracking)]と[自動追跡(Auto Tracking)]をタッチパネルから無効にしている。これは、xCommand Cameras SpeakerTrack Activateコマンドで有効にすることができます。

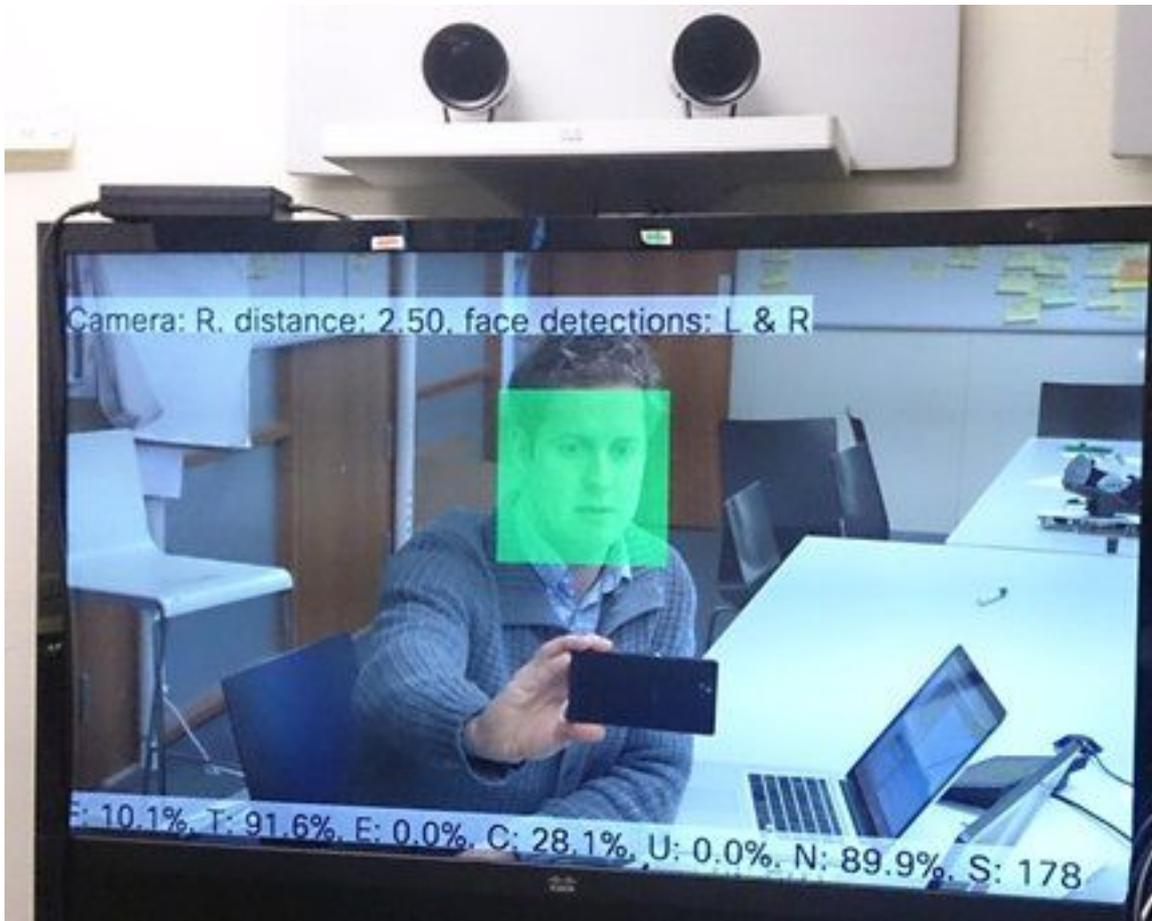
## 診断

顔検出メカニズムの機能を確認するには、次のコマンドを入力してアクティブスピーカーと顔検出を開始します。

```
xCommand Experimental SpeakerTrack Diagnostics Start Tracking: On
```

次のコマンドは、TCリリースで有効です。CE8では、実験的なコマンドは次のコマンドに置き換えられています。

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start Tracking:<on, off="></on>
```



スピーカートラッカー診断を有効にすると、画面に表示されるパラメータの意味を次に示します。

F (ローカル音声) : ローカルで会話する場合、これは100%に閉じられています。

T (ローカル非ノイズ) : 100%に近い(0%に近い)は、ノイズの多い(非ボイス)がピックアップされたことを意味します。

E (遠端音声) : 遠端が話す場合、追跡されません。

C (カメラの動き) : 高い数値は多くのスイッチングを意味します。

U (超音波) : 低くする必要があります。超音波が干渉する可能性があります。Cisco Proximityを使用すると、超音波が検出されます。

N (無音) : 100%は、音声聞こえなかったことを意味します。

S (オーディオサンプル) - サウンドアルゴリズムからのサンプル数。これは177-182付近である必要があります。

詳細については、ビデオのSpeakerTrack診断の[有効化を確認](#)することもできます。

## ログ

これらのログは、Speaker Trackのインストール時に表示されます。

エンドポイントは、カメラとスピーカートラックのペアリング時にログをキャプチャします。

15342.61 **CAMERA** I: PairingStatus Starting: 1 Paired: 1 **Connected:** 1

15342.61 CAMERA I: PairingStatus MacAddr: 'E4:C7:22:65:3F:D3'

Ipv4: '' Ipv6: '' Ipv6Global: 'fe80::e6c7:22ff:fe65:3fd3'

15342.78 **CAMERA** I: PairingStatus Starting: 1 Paired: 1 **Connected:** 1

15342.79 CAMERA I: PairingStatus MacAddr: 'E4:C7:22:65:3F:EE'

Ipv4: '' Ipv6: '' Ipv6Global: 'fe80::e6c7:22ff:fe65:3fee'

15342.81 **SpeakerTrack** I: Peripheral C0:67:AF:58:B8:2D does not need SW upgrade

15342.90 CAMERA I: PairingStatus Starting: 0 Paired: 1 **Connected:** 1

15342.90 CAMERA I: PairingStatus MacAddr: 'E4:C7:22:65:3F:D3'

Ipv4: '' Ipv6: '' Ipv6Global: 'fe80::e6c7:22ff:fe65:3fd3'

接続状態は、Speaker Trackが正常にインストールされたことを示します。

- [\\_ Cisco Systems](#)